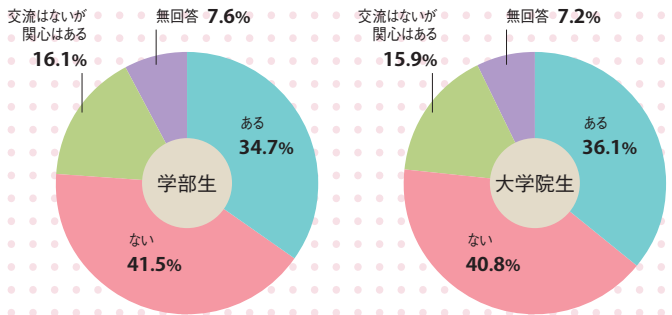


データで見る兵教生

～第12回(平成26年度)学生生活実態調査報告書から検証～
日本人学生と留学生との交流

↓ 本学の留学生との交流はありますか？
(留学生は、日本人学生との交流について回答)



留学生との交流で開くグローバル化の扉

小学校における外国語活動の必修化、文部科学省のスーパーグローバルハイスクール事業など、教育現場におけるグローバル化への関心・期待が高まっており、異文化理解への教育は喫緊の課題となっている。教員を目指す本学学生にとって、留学生との交流は異文化に触れることができる身近な機会といえるだろう。

留学生との交流が「ある」と答えた学生は、「ない」と答えた学生をやや下回るものの、「交流はないが関心はある」学生も少なくはないようだ。

留学生をサポートするチューターへの応募や国際交流サークル活動への参加など、留学生との交流を自身のグローバル化への第一歩にしてはどうだろうか。

HYOKYO'S DATA

たくさんの刺激を受けています

チューターとして留学生と関わる中で、日本とは違った多様な価値観、文化に触れ、たくさんの刺激をもらっています。また、日本への素朴な疑問には良い意味でよく悩まされ、日本をもっと知りたいと思うようにもなりました。先輩チューターの「笑顔と涙は国境を越える」という言葉を胸に、すてきな出会いに感謝しながら、国際交流を続けていきたいです！

やぎみずき
八木瑞希さん
学校教育学部
言語系コース4年



異文化理解を深めています

交換留学生として来日する前は「日本人と友達になれるかな」と心配していました。でも、国際交流に熱心な仲間が何人もいて、彼らと外国人の目から見るジャパンなどについて話し合うなど、楽しい1年間を送りました。今は異文化理解を深めて、国際性豊かな人間になれるように頑張っています。一緒に撮影した瑞希さんは、いつも冗談を言い合いながらお互いに成長していく仲間です。

こうよう
高揚さん(中国)
修士課程
文化表現系教育コース(国語)2年

この経験は将来に生きるはず

違う国のお友達をつくりたい!という気持ちで、クイちゃんのチューターを始めました。一緒にレポートを書いたり京都に遊びに行ったりと楽しい時間を過ごし、たくさん話すことで、日本語や日本の文化・生活について深く考え、勉強するようにもなりました。また、留学生の友達も多くでき、この経験は教員になった際に必ず生きてくると思います。

たに もと たまき
谷本珠希さん
専門職学位課程
小学校教員養成特別コース2年



出合いを大切にしたいです

3年間日本語を勉強し、憧れだった日本に留学するチャンスに恵まれました。最初は言語や新しい環境になじめず、心細いと感じました。しかし、このままではだめだと思い切って話しかけたりするうちに日本人の友達がたくさんでき、今は帰りたいくらい楽しんでます。帰国までのわずかな時間、一期一会で一つ一つの出会いを大切にしていきたいです。

グエン ウェン クイ
NGUYEN UYEN QUIさん
(ベトナム)
特別聴講学生